

西包括だより

地域の取り組みの紹介!

城田地区まちづくり協議会 健康・福祉委員会主催

『たまには足を延ばして…明和イオンへお買い物に行きませんか?』

城田地区まちづくり協議会事務局長と生活支援コーディネーターとで『白百合園』にデイサービスの送迎車を借りられないかお願いに行ったところ、快諾していただき送迎車を活用させてもらうことになりました♪



10月30日(木)
栗野町・中須町・栗野団地にお住まいの方を対象



参加者の声(80代女性)

「長生きしていてよかった。
良い記念になった。
また連れて来てもらいたい。」

生活支援コーディネーターって?

資源開発

担当地域の集いの場等を訪問、内容の把握。参加者に普段どのように過ごしているか生活に困りごとがないか聞き取りをし、新たな社会資源の開発に取り組みます。

ネットワーク構築

年に2～3回地域ケア会議を開催。まちづくり協議会の委員会や介護事業所の運営推進会議に出席し、地域とのつながり作りをしています。

ニーズと取り組みのマッチング

「認知症の予防の為に色々な場所に出かけたい!」「運転免許の返納でスーパーまで遠くて困る...。」このようなニーズと把握しているサービスとをつなげ、住み慣れた地域でこれからも生活できるようお手伝いします。

伊勢市西地域包括支援センター

〒519-0503 伊勢市小俣町元町536番地(小俣保健センター内)

TEL **0596-20-5055** FAX **0596-27-0570**

- 開設時間 / 8:30～17:15
- 休業日 / 土・日・祝日、12月29日～1月3日
- メール / iseshakyo-houkatu@mie.email.ne.jp

* スタッフが外出している場合があります。来所の際は、できれば事前にお電話ください。

地域ケア会議の報告

令和7年9月1日に、専門職向けに地域ケア会議を実施しました。宇治山田歯科医院の歯科衛生士と管理栄養士の方に講話いただき、口腔に関するアセスメントの仕方についてグループで話し合い、発表をしていただきました。

歯科衛生士の方の講評の一部を掲載

口腔の問題は後回しにされがちだが、糖尿病だけでなく、心疾患、脳血管疾患、認知症とも関連が深い。歯磨き時の出血などは歯周病の可能性を示唆するため、歯科への相談を促すきっかけになる。



口の中を見せることへの抵抗感に対しては、まず信頼関係を築くことが重要である。食事の様子（食べる時間、食べにくいもの）を具体的に聞くことで、自然な流れで口の中のチェックにつなげることができる。

よってこカフェについて

西包括では、認知症の方やそのご家族が集まる居場所づくりを推進しています。令和7年9月には、小俣保健センターにて『おとな紙芝居』を実施。懐かしい昔話を楽器の音色と共に楽しんでいただきました。

その後は「秋」を題材に回想法を実施し、秋にまつわる思い出を話してもらいました。家族の茶話会では介護についての困りごとを話し、認知症の症状の進み方や介護について経験談を話していただく場面もあり、意見交換の良い機会となりました。



奇数月の第3火曜日13時30分から小俣保健センターにて開催していますが、令和8年1月20日(火)は『カフェマモドリ』にて開催します。

